

災害時の情報伝達において2020年に目指す姿（外国人の場合）

現状

日本語の災害情報、避難情報を理解できない...



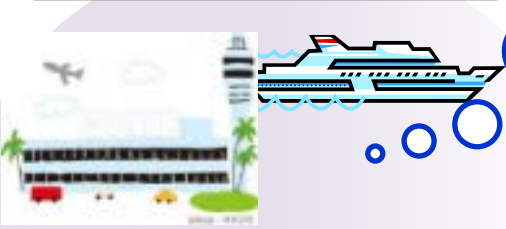
2020年に目指す姿

視覚化・多言語化された情報を受け取れる！

※「 」の中は、実現に資する総務省関連施策

【情報伝達手段、避難支援、救急搬送の整備】

入国・出国時



空港・港湾

多言語での情報提供が十分に行われていない



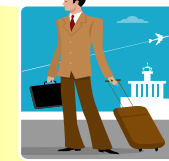
国内移動中



駅等のターミナル施設

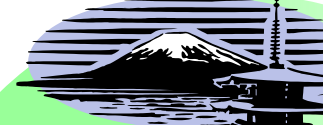


公共交通機関内



徒歩

国内滞在時・活動時



観光案内所



宿泊施設



観光・商業・スポーツ施設

職場・学校

2020年に目指す姿の例

＜空港・駅等ターミナル施設、観光・商業・スポーツ施設等＞

スマートフォンのアプリやデジタルサイネージ等を利用して多言語の文字情報や地図・ピクトグラム（絵文字）等の視覚化情報を入手できるように！

「IoTおもてなしクラウド事業」「災害に関する情報の多言語対応」「外国人等に配慮したターミナル施設等における防火・防災対策の推進」「Lアラートを介して提供される発信情報の視覚化」等

ABC...



デジタルサイネージ

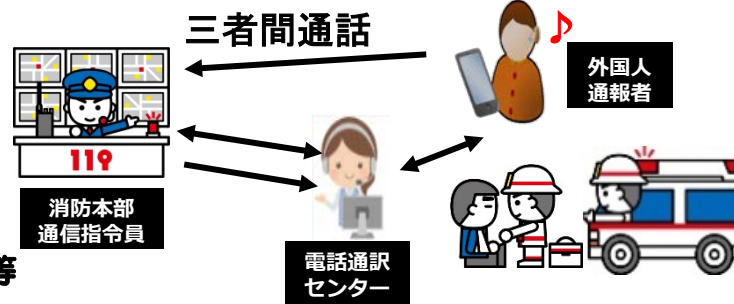


スマートフォンアプリ

＜救急搬送＞

全国で119番通報や救急搬送時の三者間同時通訳が実現して、安心して救急サービスを受けられる！

「指令等の消防業務における多言語対応事業」「救急用多言語音声翻訳システムの研究開発」等



多言語での情報提供が十分に行われていない



119番通報や救急隊に言葉が通じない



＜災害発生時＞

避難所等で「情報コーディネーター（仮称）」による情報の伝達支援を受けられる！

「情報コーディネーター（仮称）による情報伝達支援」「多言語表示シートの活用促進」等

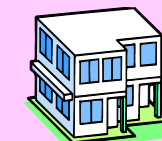


避難所



May I help you?

情報コーディネーター（仮称）



避難所



救急搬送



119

自宅滞在時



自宅

避難所で日本の慣習等が分からない



災害発生時

【情報伝達の基盤整備】

＜様々な場面＞ 情報通信インフラの耐災害性を進めることで、災害が発生しても、いつもと変わらず使えるように！

「ラジオの難聴対策」「公衆無線LAN環境整備」「放送ネットワークの強靱化」「ケーブルテレビの耐災害性の向上等」「可搬型予備送信設備等の配備」等